

# 敦賀発電所2号炉 敷地の地形, 地質・地質構造

## 調査データの確認状況について

令和4年11月25日  
日本原子力発電株式会社

余白

■第833回審査会合(令和2年2月7日)でのボーリング柱状図記事欄の書換えに関するご指摘, 及びそのご指摘を受けた原子力規制検査の状況等を踏まえ, 再構築した審査資料作成プロセスに基づき, 以下の基本的考え方, 手順等により, 審査資料を作成することとし, このための調査データの確認等を進めてきた。

- ・調査データのトレーサビリティの確保を確実なものとする。
- ・複数の調査手法により評価した結果については, 各評価結果を示すとともに, 総合評価を行う。
- ・ボーリングコアの詳細観察した結果や薄片観察結果は柱状図とは別の資料として取りまとめ, 破碎帯の連続性評価等の後段の評価のための資料として取りまとめる。
- ・審査資料の作成に当たっては, 調達管理, 設計図書(審査資料)の設計開発等に関わる品質保証プロセスを確実に実施する。

■平成27年11月5日の原子炉設置変更許可申請以降の審査会合で提示してきた調査データのうち, これまでに, K断層の連続性評価に関わる調査データ※1について確認を完了している。

※1: K断層とK断層の南方延長にある10孔のボーリングに関わるデータ(調査位置図を図1及び図2に示す)

これらの確認結果について, 資料3-1~9及び資料4に示す。

資料3-1~9: ボーリング柱状図と元となるデータ一式

資料4: その他の調査データの変更箇所と元となるデータ一式

■K断層の連続性評価に関わる調査データ以外については, 引き続き確認を進め, 取りまとめ次第提出する。

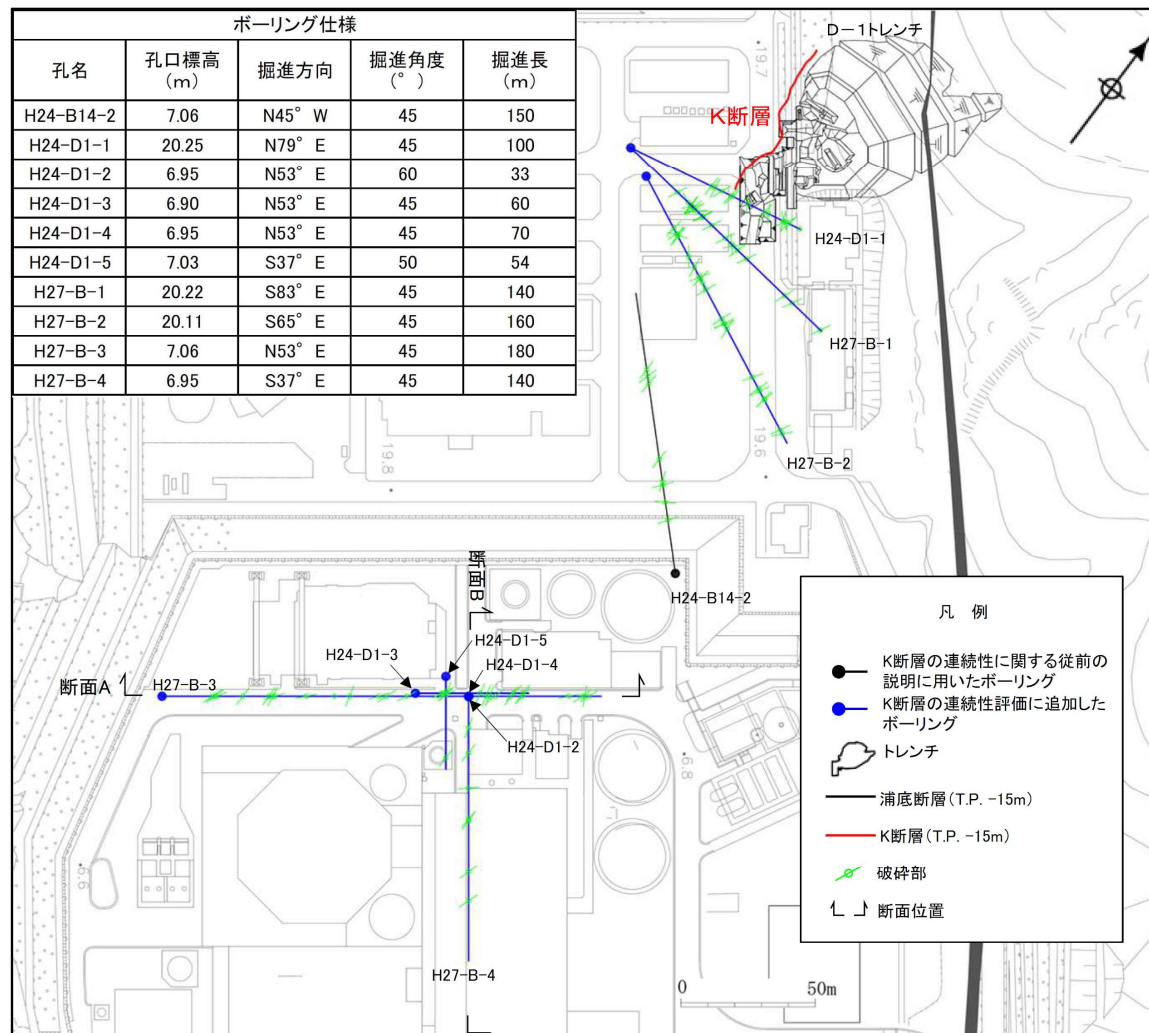


図1 K断層の南方延長への連続性評価のためのボーリング調査(計10孔)位置図

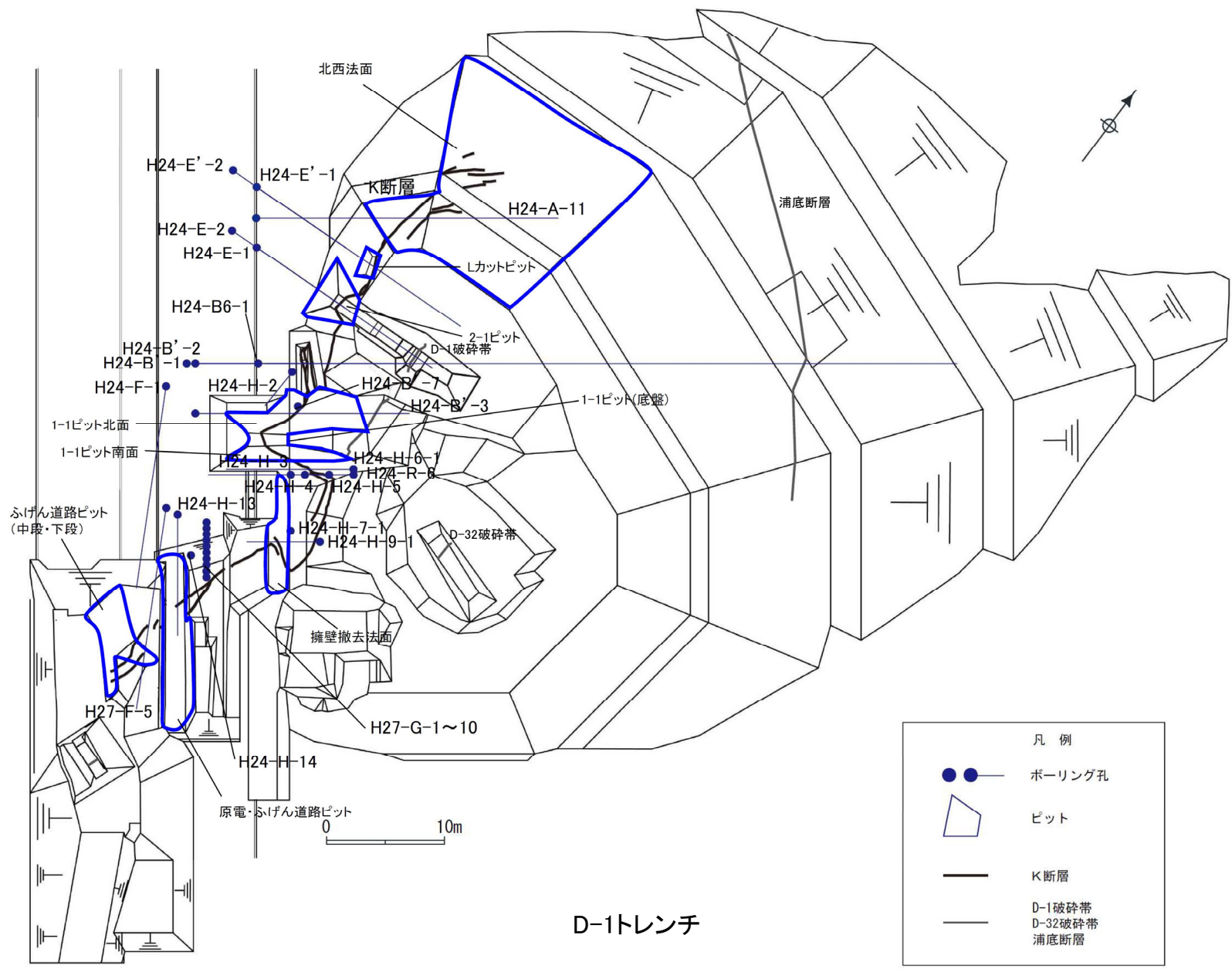


図2 K断層調査位置図